

# MANPOWERGROUP EMPLOYMENT OUTLOOK SURVEY

## 日本の雇用予測調査結果

2022年第2四半期

日本の雇用意欲、前四半期よりマイナスの結果



ManpowerGroup®



# エグゼクティブ・サマリー

マンパワーグループが40カ国・地域の41,000社以上の企業を対象に実施した最新の雇用予測調査では、2022年第2四半期も引き続き、楽観的な見方が目立つ雇用の見通しとなっていることが明らかになりました。

日本の純雇用予測は前年同期比でわずかに改善となったものの、2022年第1四半期に比べて低調。

「第一次産業」が前四半期比で19ポイント増と最も堅調な見通し(+22%)を示し、「IT、技術、通信、メディア」(+18%)がそれに続いています。最も雇用意欲が低いのは「非営利」の-15%。

# 目次

2022年第2四半期の雇用予測	04
マンパワーグループの雇用予測調査について	12
他国の調査結果	16



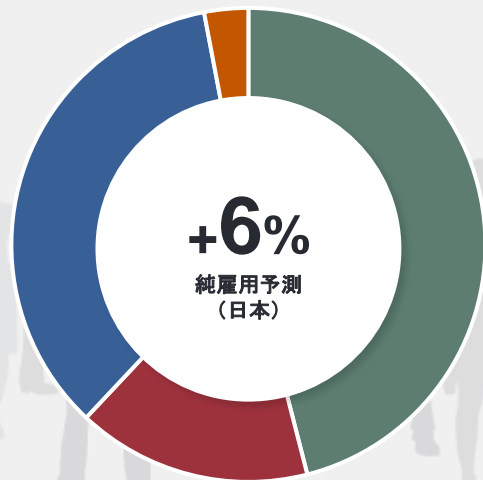


## 2022年第2四半期 日本の雇用予測：



## 2022年4月-6月期 日本企業の雇用予測

マンパワーグループが1023社の企業を対象に実施した2022年第2四半期の雇用予測調査では、季節調整後の純雇用予測は+6%となり、前四半期比で3ポイント減、前年同期比では1ポイント増の結果となりました。



24% 増加

16% 減少

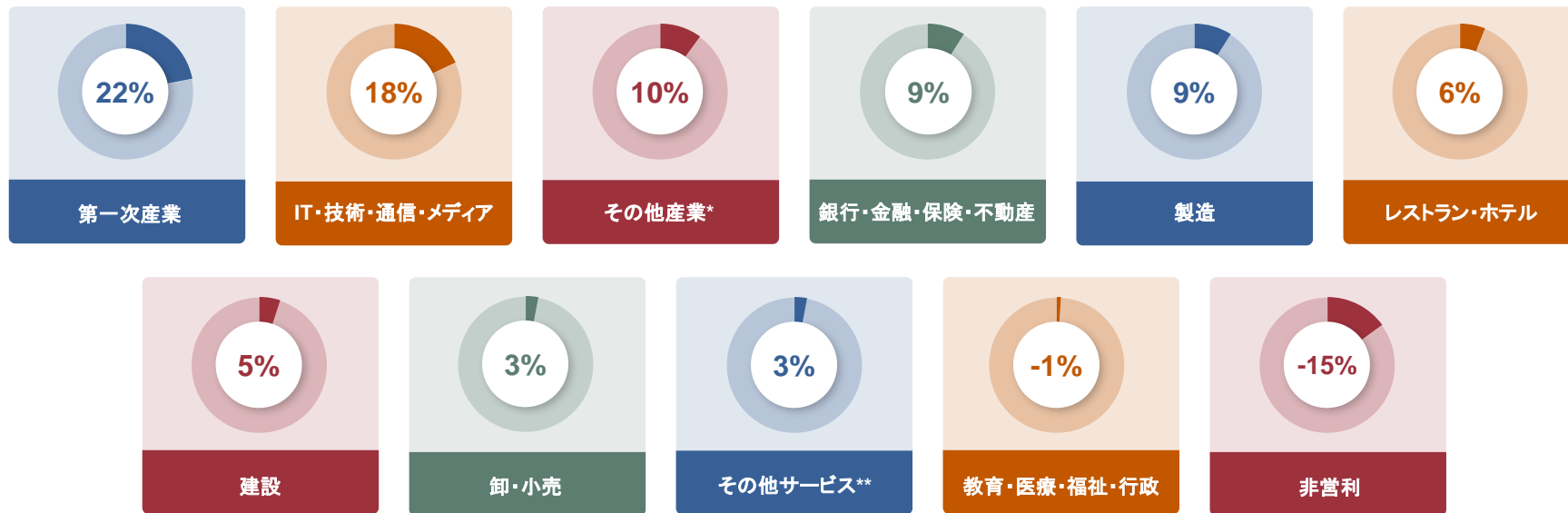
55% 変化なし

5% 不明



## 2022年第2四半期:11業種中9業種において雇用意欲改善の見込み

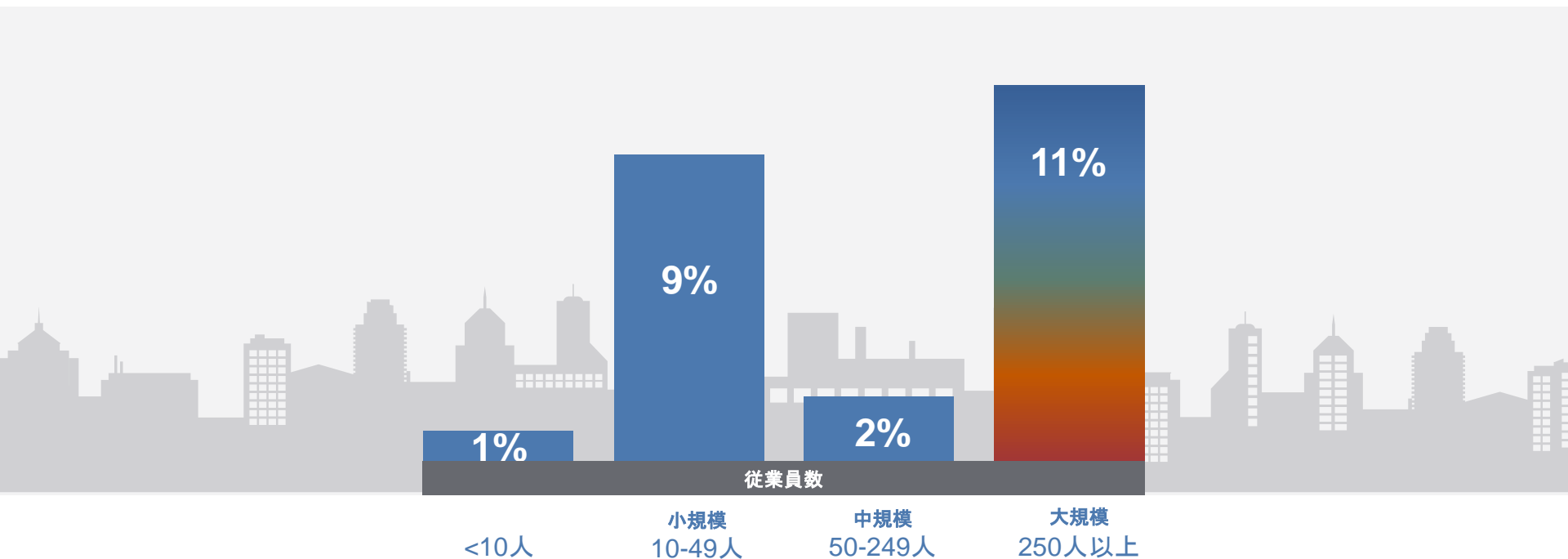
業種別では「第一次産業」が前四半期比で19ポイント増と最も堅調な見通し(+22%)を示し、「IT、技術、通信、メディア」(+18%)がそれに続いています。一方、「非営利」の純雇用予測は-15%、「教育・医療・福祉・行政」は-1%で、前四半期比でそれぞれ27ポイント減、16ポイント減となっています。



\*農林水産業、鉱業および採石業、電気、ガスおよび空調設備の供給、上水道、下水道、廃棄物処理および再生資源業含む。

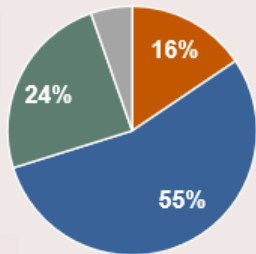
\*\*学術研究、専門・技術サービス業、事務サービス業、その他サービス業を含む。

大規模組織は、前四半期比で3ポイント減となるが11%と最も高い雇用意欲を示しており、小規模組織については、前四半期比で6ポイント増の9%となっています。



2022年  
第2四半期  
雇用予測

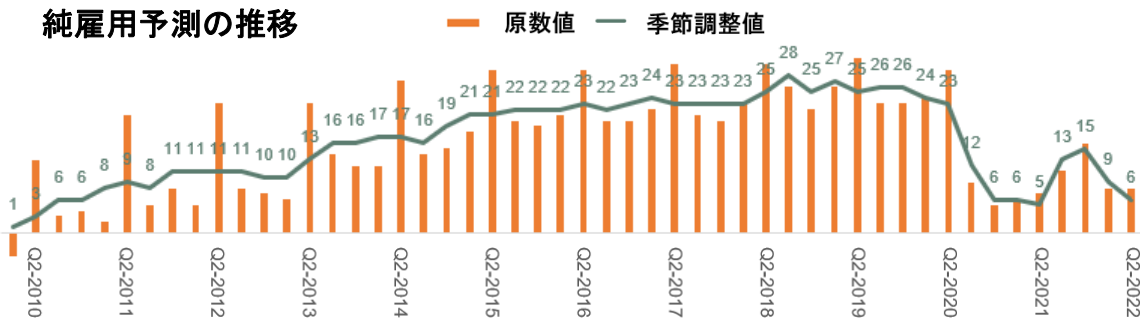
増加  
変更なし  
減少  
不明



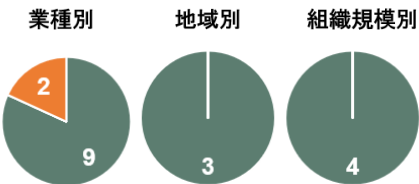
6

純雇用予測:  
(季節調整値)

純雇用予測の推移



増加、変更なし、減少  
の予測トレンド



最も好調な雇用が予測されるカテゴリー:

業種別: 第一次産業 (22)

地域別: 東京 (10)

組織規模別: 従業員数250名以上(11)

最も低調な雇用が予測されるカテゴリー:

業種別: 非営利 (-15)

地域別: 名古屋 (2)

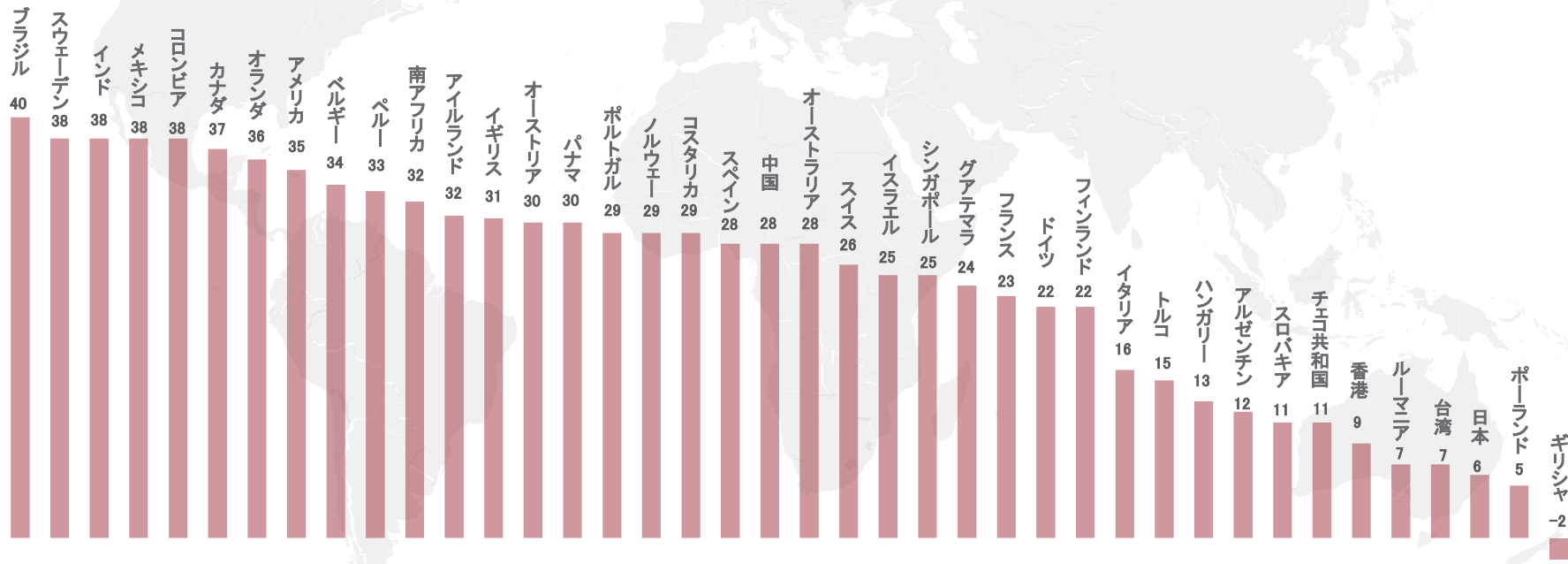
組織規模別: 従業員数10名未満 (1)

2022年第2四半期純雇用予測

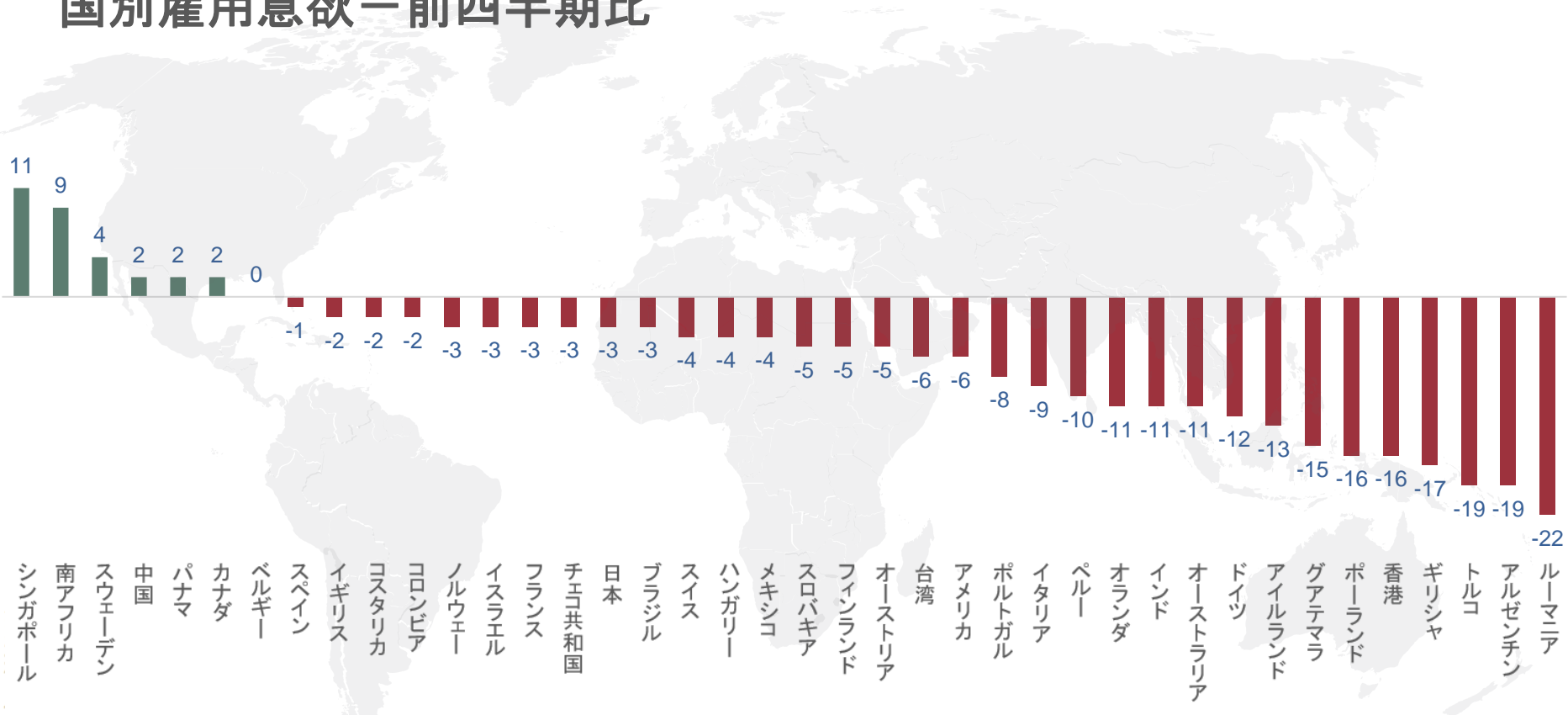
		前四半期比	前年同期比
日本 (n=1023)	6	-3	+1
銀行・金融・保険・不動産 (n=62)	9	-2	-6
建設 (n=88)	5	-4	+0
教育・医療・福祉・行政 (n=133)	-1	-16	-6
IT・技術・通信・メディア (n=122)	18	+2	NA
製造 (n=224)	9	+1	+11
非営利 (n=20)	-15	-27	NA
第一次産業 (n=22)	22	+19	NA
レストラン・ホテル (n=55)	6	+9	NA
卸・小売 (n=96)	3	-8	+1
その他サービス (n=128)	3	-1	-2
その他産業 (n=73)	10	+4	NA
名古屋 (n=134)	2	+0	+2
大阪 (n=317)	5	-5	+4
東京 (n=572)	10	-1	+5
従業員数10名未満 (n=67)	1	+8	NA
従業員数10~49名 (n=202)	9	+6	+2
従業員数50~249名 (n=254)	2	-7	-6
従業員数250名以上 (n=488)	11	-3	+7



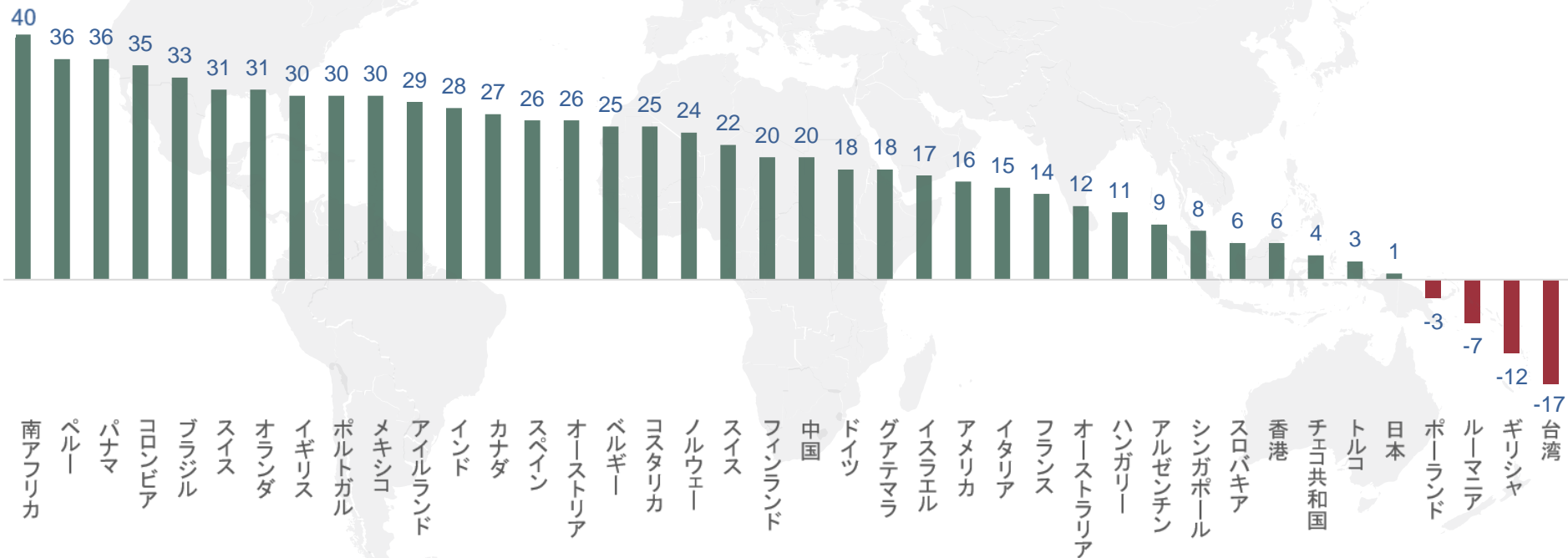
# 国別雇用意欲ランキング



# 国別雇用意欲一前四半期比



# 国別雇用意欲一前年同期比



A group of four diverse professionals (three women and one man) are seated around a wooden table in a meeting. They are all smiling and looking towards the right. One woman in the center is holding a tablet. The table has several mugs, a glass of water, and some papers. The background is a blurred office setting.

# ABOUT THE MANPOWERGROUP EMPLOYMENT OUTLOOK SURVEY

# この調査について

マンパワーグループの雇用予測調査(2022年1月実施)は、この種の調査としては最も広範囲にわたる事前調査であり、重要な経済指標として世界で活用されています。純雇用予測とは、来四半期に「増員する」と回答した企業の割合(%)から、「減員する」と回答した企業の割合(%)を引いた値です。1962年から続くこの調査の成功は、さまざまな要素に裏打ちされています。

## 独自性

規模、範囲、歴史、明確に焦点を絞っているという点で、他に類を見ない調査です。マンパワーグループ雇用予測調査は世界で最も広範囲にわたる事前調査で、雇用主を対象として来四半期における雇用意欲を調査するものです。これに対して、他の調査や研究は、過去のトレンドのデータを報告することを主眼としています。

## 独立性

調査の実施にあたっては、すべての対象国・地域の代表的な雇用主から回答を集めます。調査対象組織は、マンパワーグループの顧客基盤とは無関係です。

## 信頼性

この調査は、世界40カ国・地域の39,000を超える公的機関・民間企業への聞き取り調査をもとに、各四半期の雇用動向を予測しています。このようにして回答を集めることで、各業種や地域の動向を分析し、より詳細な情報を提供することが可能になっています。

## 定点観測

本調査は60年以上にわたり、次のような一定の質問で、各項目のあらゆる情報を提供しています。2022年第1四半期の調査にあたっては、全世界の調査対象組織に、「2022年4月から6月の貴社または貴機関の雇用計画は、今期と比べてどのように変化しますか？」という共通の質問をしています。

## 調査手法

雇用予測調査のデータ収集実施において、2022年第2四半期のレポートでは、全40の国と地域でデジタル化されました。前四半期には電話での調査が含まれていました。リモートワークへの移行やインターネットへの依存度の高まりを受けて、現在はオンラインで回答を収集しています。

回答者は、ダブルオプトイン方式のオンラインパネルのメンバーであり、アンケートに回答するように奨励されています。質問内容や回答者のプロフィールに変更はありません。グローバル全体での比較を可能にするため、「組織規模」と「業種」はすべての国で統一されています。

# 人材戦略には、「育成」「採用」「外部活用」「配置転換」がある



パイプラインを拡大する  
ための学習・人材  
開発へ投資する



社内で育成できない優秀な  
人材を外部市場から  
調達する



社外の人材コミュニティ  
を活用する

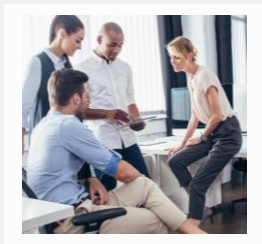


組織内での異動や新たな  
役割への昇進を支援する

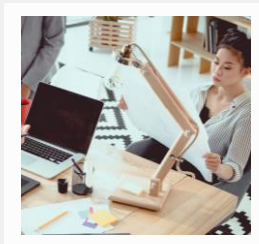
人事や人材にまつわる最新のトレンドや情報は [こちら](#)



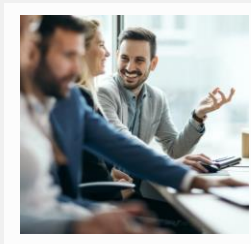
# ManpowerGroup Provides Solutions Across the Entire HR Life Cycle



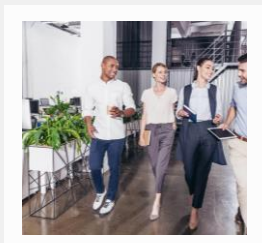
ワークフォース・コンサルティング  
及び分析



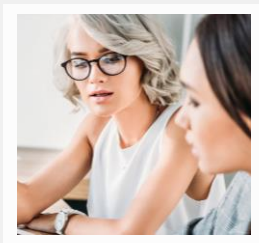
ワークフォース・マネジメント



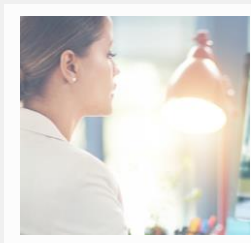
タレントソーシング



キャリアマネジメント



キャリア・トランジション



優秀な人材の確保

# 他国の調査結果はこちら